

2018 年4月2日

2018年度入社式 社長挨拶

第一生命ホールディングス株式会社(社長:稲垣 精二)は、2018 年4月2日(月)に入社式を行いました。
社長挨拶の主旨について、別紙の通りお知らせ致します。

2018 年4月1日新入社員

第一生命・第一フロンティア生命・ネオファースト生命	8 3 1 名
第一生命情報システム	3 1 名
第一生命チャレンジド	2 0 名
計	8 8 2 名

世間の人が喜ぶか、無くて良いと思うかを考えよ

新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。

第一生命は、1902 年の創業当時から「お客さま第一主義」を掲げ、お客さまに真摯に向き合い続けてきました。そして、その理念は、「経営品質」や「生涯設計戦略」と時代に合わせて経営のフレームワークを進化させ、お客さまの「一生涯のパートナー」という変わらない存在であり続けるためのチャレンジを続けてきました。この強い信念とチャレンジ精神は、第一生命のDNAであり、今も第一生命に脈々と引き継がれています。

常に変化し続ける時代においては、現状に満足することなく、徹底したお客さま本位の姿勢で、「真っ先に」変革にチャレンジしていく必要があります。皆さんには、理想と夢を大切にしながら、仕事を通じて、様々なチャレンジをして欲しいと思います。

私は、毎年、新年を迎えるタイミングで、「ミッションステートメント」という自分の行動の基礎となる原則を手帳に書き込んでいます。今年は、創業者 矢野恒太翁の事業哲学である「世間の人が喜ぶか、無くて良いと思うかを考えよ」を自身のミッションステートメントとして手帳に書き込みました。

世間の人が喜び、有益で便利だと感じてくれる仕事は、必ず世の中がその価値が認めてくれる。価値が認められれば、世間がその仕事を大きく育ててくれる。だからこそ、仕事というものは世間のためにやるのだ、ということです。

皆さんはこれから、様々な仕事をしていくことになりますが、「どうやって仕事をしていけばよいのか」と悩むこともあると思います。そんなときは、「何のためにこの仕事があるのか」を考えてみてください。何のための仕事なのか分からないければ、やり甲斐も感じられませんか、意味のある、価値のある成果を出すこともできません。逆に仕事の意義、目的が理解できると、やり甲斐が生まれ、イキイキとした活躍につながります。

3月29日、第一生命グループは、2018年度からの**新中期経営計画「CONNECT 2020」**を公表し、この中において「QOL (Quality of Life)¹ 向上への貢献」を強く打ち出しました。私は、「QOL 向上」とは、一人ひとりが、その人の望む人生や、こう生きたいという生き方を実現すること、よりその人らしい生活を送ることだと考えています。一人ひとりの望む人生、生き方、その人らしい生活は異なり、その実現のために向き合うべき悩みや不安も異なります。

一人ひとり異なる「QOL 向上」に「貢献」することとは、一人ひとりに向き合い、その人の抱える悩みや不安をやわらげるサポートをすること、一人ひとりの「もっと安心に。もっと私らしく。」の実現を応援することだと考えています。新中期経営計画の「CONNECT 2020」の実践を通じ、お客さまが「もっと安心に。もっと私らしく。」いられることをサポートするための様々な価値を提供することで、社会・お客さまと、より CONNECT し、第一生命グループのブランド向上につなげていきたいと考えています。

皆さんが、新しい第一生命グループのメンバーとして、日本・世界各国の仲間と「つながる」ことで、新たな価値が生まれ、それが未来の第一生命グループの成長へと繋がっていきます。柔軟な発想でそれぞれの所属に新たな風を吹き込み、大活躍されることを期待しています。

¹ "QOL (Quality of Life)"とは、物理的な豊かさや個々の身辺自立のみでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた概念のことです。